

本号では、東京支部 TPC 主催講演会報告、および東京支部 LMAG、YP、SAC、東京/信越 ジョイント支部 WIE 主催のキャリアディベロップメントワークショップを掲載します。

### 1. 第8回東京支部 TPC 主催(LMAG-Tokyo 共催)講演会

東京支部 TPC 主催、LMAG 共催の講演会が、2024年9月24日(火)15:00-16:30に、オンラインで開催されました。講演タイトルは「ロボット聴覚:ロボットの耳の機能構築とその多面的な新展開」、講師は中臺一博氏(東京工業大学/2023年IEEE Fellow)でした。本講演のテーマであるロボット聴覚は、ロボットの耳の機能を構築することを目的に、2000年に日本から提案された研究テーマです。中臺氏は、この研究領域の全体をロボット聴覚 1.0 ~ 5.0 に分類し、まずこれまでの取り組みや実績を説明し全体を概観しました。さらに、ロボット聴覚の展開として進めている、ドローン聴覚、野性鳥類の歌の分析を説明しました。手話の翻訳と生成ならびに音声認識といった障害者支援の取り組みに関して説明し、活動の過程において明らかになってきた技術的な問題点と解決に向けた取り組みについて併せて紹介しました。またロボット聴覚の応用の広がりを促進するために、ソフトウェアのオープンソース化を推進しています。最後に、ロボット聴覚技術の今後の展開として、災害救助、SDGs への挑戦があり、技術的にはエッジコンピューティングと機械学習の導入が重要であることを言及しました。

本講演の参加者は 109 名、IEEE 会員は 70 名でした。



Fig.1 講演する中臺一博氏

### 2. 第9回東京支部 TPC 主催(LMAG-Tokyo 共催)講演会

IEEE 東京支部 TPC が主催し、LMAG 東京が共催する講演会が 2024 年 11 月 08 日(金)、機械振興会館(現地)とオンラインで開催されました。講師は宮崎守泰氏((株)三菱電機株式会社/2022年IEEE Fellow)で、講演タイトルは、「レーダ・衛星通信サブシステムのコンパクト化を支えるアンテナ給電系・BFN 技術」でした。現地参加 7 名、オンライン 49 名の 56 名(うち IEEE 会員 43 名)の方が参加されました。

安全・安心・快適を目指す高度な情報化社会を構築する上で、レーダによるセンシングや無線通信による情報通信ネットワークの高度化は極めて重要である。高度化の要求は、その時々における革新的なシステム/サービスの構想を具現化すべく、各種レーダ、衛星通信・観測・測位、地上移動体通信、さらには NTN (Non Terrestrial Network) などのシステム構築のために、様々な無線装置に対する機能、性能、サイズ、信頼性、およびコストなどの要求を合わせ持った複合的な技術課題として定量化されてきました。本講演では、まずこれら装置のうち移動体搭載のレーダおよび無線通信装置において、装置のコンパクト化を図る上で実は大変重要なアンテナ給電系・BFN (Beam Forming Network) の小形・薄型化に関する技術課題と解決策を時系列に沿って紹介されました。続いて、その後の情報通信網の発展や半導体デバイス・周波回路実装技術の進化などを背景にレーダ・衛星通信サブシステムの高度化とコンパクト化の両面が図られる中で、これに貢献するアンテナ給電系・BFN 技術を俯瞰されました。

講演の後、活発な質疑応答がなされました。



Fig.2 講演する宮崎守泰氏

### 3. 東京支部 LMAG、YP、SAC、WIE グループ 主催キャリアディベロップメントワークショップ

第 15 回 IEEE 東京支部キャリアディベロップメントワークショップが、2024 年 11 月 16 日（土）に機械振興会館（東京都）で開催されました。このイベントは、IEEE 東京支部の LMAG、YP、SAC、東京/信越 ジョイント支部 WIE が主催し、明治大学 SB、東京農工大学 SB、東京理科大学 SB が共催し、IEEE Life Member Committee がスポンサーとなりました。参加者は合計 23 名、うち 13 名は学生（6 名は IEEE 会員）、10 名は社会人・教育関係者（9 名は IEEE 会員、うち 5 名は Life Member）でした。

今年で 15 年目を迎えるこのワークショップは、学生と若手エンジニアのキャリア開発を支援することを目的としています。プログラムでは、4 人の著名なファシリテーター（メンター）が主導するブレインストーミング形式のグループ ディスカッションが行われました。

- ・グループ A: キャリア開発においてメンターはどんな効果がありますか。また、メンターを見つけるにはどうすればよいですか。（メンター：太田 LMAG Chair）
- ・グループ B: 10 年後、そして未来の自分を想像してみましよう。（メンター：杉江 LMAG Secretary）
- ・グループ C: 研究成果を国際的な聴衆にわかりやすく伝えるには？（メンター：シュレスタ氏）
- ・グループ D: 大学（専門学校）の教師だったら？（メンター：吉田 SAC VC）

ワークショップは、石垣 YP Chair の開会の挨拶と今井 LM Committee によるグローバルメンタリングイニシアチブの紹介で始まりました。その後、ファシリテーターの紹介、グループ ディスカッションとプレゼンテーション、津田 R10 LM Coordinator による講評と閉会の言葉が続きました。林 LMAG VC、カワモト WIE Chair、上村 SAC Chair も議論をサポート

トしました。  
グループディスカッションは、参加者の視野を広げ、今後のキャリアプランを策定するのに役立つことを期待しています。ネットワーキングでは世代間の交流が深まり、新たな繋がりもできました。このイベントは今後の同様な活動を企画する参考になりました。



Fig.3 集合写真

### 4. IEEE 東京支部 LMAG 次期役員選挙結果について

LMAG-Tokyo の次期（2024-2025）役員選挙が行われ東京支部理事会（2024 年 12 月 10 日）において、下記のように承認されました。2025 年 1 月 1 日から新たな体制で活動いたします。

#### 次期役員

- Chair : 林 秀樹  
(横浜国立大学、元住友電工(株))
- Vice Chair: 杉江利彦 (北海道大学\*、元 NTT)  
\*東京支部在住会員
- Secretary : 千葉 勇  
(有人宇宙システム(JAMSS))、  
元三菱電機)

### 5. 今後の予定

LMAG ではこれから、東京支部 TPC 主催、LMAG 共催の講演会を予定しています。

- ・2024 年 12 月 26 日（木） 15:00～16:30  
「カーボンニュートラル社会実現に向けた SF6 ガス規制の動向と、黎明期における SF6 フリー開閉装置の開発および最新の開発動向」（六戸 敏昭：日立製作所）、ハイブリッド

IEEE Tokyo Section LMAG Newsletter 第 42 号  
2024 年 12 月 25 日発行  
発行：IEEE 東京支部 Life Members Affinity Group  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 517 号  
E-Mail: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)